

温泉通りの未来を考える ワークショップを開催しました！

ゆざわ
まちづくりニュースレター

- ・湯沢町では、将来にわたり住みやすく魅力ある温泉通りであり続けるために、温泉通りのあり方について検討を進めています。
- ・検討にあたっては、協議会だけで完結するのではなく、町民の皆さまと温泉通りについて意見交換を行う場が必要であると考え、下記のワークショップ*を開催しました。

*ワークショップとは：あるテーマについて現状や課題を共有し、解決策を話し合う場を通じて、関係者間での共通認識の形成やより良い解決策の創出などを目指すものです。

ワークショップの開催概要

日時（全4回）

- ① 2025年11月5日 15時/19時
- ② 2025年11月6日 15時/19時

参加された皆さま（計32名）

- 滝沢町内会 6名（2名）西中町内会 23名（15名）
- 西山町内会 3名（3名）

※（ ）内は事業者（店舗兼居住も含む）の数

テーマ

「将来にわたり住みやすく魅力ある温泉通りであり続けるためには？」

- ・温泉通りの現状・課題について考える
- ・温泉通りをより良くするためのアイデアについて考える



▲ワークショップの様子

温泉通りのあり方に関する検討とは？

- ・湯沢町では、将来にわたり住みやすく魅力あるまちの実現を目指しています。
- ・その取り組みの一環として、町民の皆さまが安心して街なかを移動でき、観光客の皆さまが「湯沢に来て良かった」と感じられる空間をつくるため、「移動」や「滞在」の視点から社会実験等*を行い、試行を重ねながら今後のあり方を検討していきます。



▲魅力ある観光地のイメージ図（例）

*国土交通省所管 道路に関する新たな取組の現地実証実験（社会実験）

ワークショップで出た主なご意見

現状・課題

- ・「湯沢町らしい」街並みが思い浮かばない
- ・街並みに魅力がない
- ・人が出歩いていない



街並み

- ・新しい建物と歴史ある建物が混在した個性を活かす
- ・統一感のある整備を行う（色・外観を統一、提灯の設置等）

- ・冬以外の観光資源が乏しい
- ・駅と旅館で需要が完結してしまう
- ・昼は営業している飲食店が少ない
- ・夜は予約で入れないため、コンビニで食事を調達する観光客もいる

観光

- ・冬以外にイベント（はしご酒、ナイトマルシェ等）を実施
- ・駅から温泉通りに人を誘導
- ・飲食店を誘致（ごみ問題に配慮）
- ・営業時間の情報発信を強化



- ・路上駐車が多い
- ・駐車場が足りない
- ・交通量が多い
- ・通過交通と歩行者の交錯が危険
- ・通行止めは工夫が必要（時間帯、許可車両、迂回路等、生活・業務に支障がでないよう配慮等）
- ・トゥクトゥクが非常によかった
- ・新幹線の駅が近い



道路空間・交通

- ・歩きやすく、生活・業務に支障のない温泉通りを目指す
- ・駐車場を整備する
- ・駐車場が少ないことを逆手に取り、車両の進入を制限する
- ・住民や業者以外の車両を進入制限
- ・歩きたくなる歩道整備と路駐しにくい道路を両立（歩道を石畳にする、デザインに配慮した三角コーンや花壇の設置等）

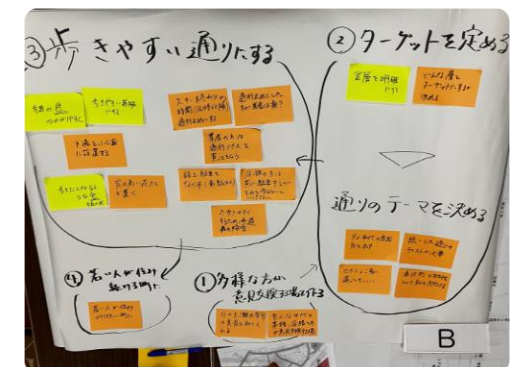
- ・冬は今のままでも賑わっている
- ・スキーやホテルの送迎バス、観光客の車で混雑する
- ・除雪が大変、歩くのが困難

冬季

- ・冬以外や閑散期に取組を実施
- ・スキーやホテルの送迎バスの統合
- ・ロードヒーティングの整備



▲話し合いの様子



▲とりまとめ結果の一例

今後の予定

- ・引き続き、町民の皆さまと議論を重ねていながら実証実験等の検討を進めてまいります。
- ・検討の過程は適宜、湯沢町HPや公式LINE、ニュースレター等でお知らせをする予定です。